

61号館のネットワークプリンター設定

はじめに注意 - 61号館のネットワークプリンターは、**有線 LAN で接続**することを前提とし、無線 LAN からでは利用できません。有線 LAN で接続したことがない場合、以下の学内ネットワークのダウンロードサイトから、SecureW2 ソフトウェアをダウンロードしてください。

<http://www.cse.ce.nihon-u.ac.jp/download>

ダウンロード後に以下の手順で、「**認証設定**」と「**プリンターの設定**」を行う（詳しくはコンピュータ入門及び演習の授業中に案内）。

1. 認証設定

(1) SecureW2 のインストール(導入)

① “SecureW2_EAP_Suite_111.zip” を展開(解凍)し、“SecureW2_EAP_Suite_111” というフォルダが作成されることを確認する。次に、フォルダの中に展開された “SecureW2_EAP_Suite_111.exe” をダブルクリックして実行する。

※ユーザーアカウント制御『次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?』というメッセージが表示された場合は、“はい(Y)” を選択。

② 図1のような言語選択の画面で “English” を選択し、“OK” ボタンをクリック。

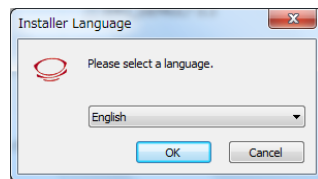


図1 SecureW2 インストール画面(言語選択)

③ 図2のような画面が表示されるので、“Next” と “I Agree” をクリック。

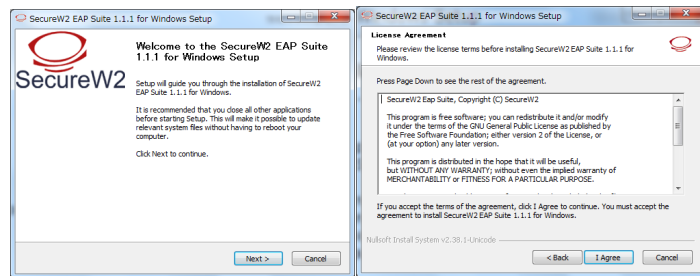


図2 SecureW2 インストール画面

④ 図3のような画面では “TTLS 4.1.0” のみにチェックを入れ、“Install” をクリック。

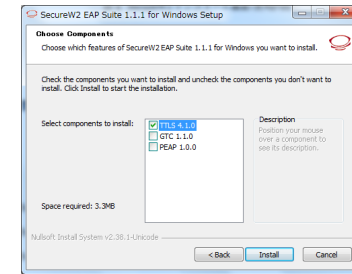


図3 SecureW2 インストール画面(利用項目選択)

⑤ SecureW2 のインストールが始まり、しばらくすると図6のような画面が表示されるので、“Reboot now” を選択し、“Finish” ボタンをクリック。自動的にPC が再起動する。これでSecureW2 のセットアップは完了です。

※しばらく待っても再起動しない場合は、手動で再起動してください。

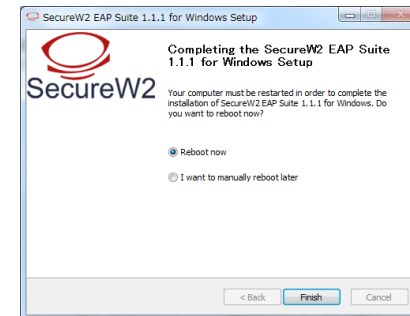


図4 セットアップ完了画面

(2) SecureW2 の設定

① この時点では、情報棟実習室(61号館1階)のネットワークを利用する為にSecureW2 の設定を行います。設定を進める前にLAN ケーブルを外してください。

② Windows8の場合、図5のように、デスクトップ画面右下にマウスポインタを置く。“設定” をクリックしてコントロールパネルを開き、“ネットワークとインターネット” の中から “ネットワークの状態とタスクの表示” を選択する。



図5 Windows 8のコントロールパネルにある「ネットワークの状態とタスクの表示」

③ ネットワークの状態画面が表示され、図6のような状態になっています。



図6 ネットワークの状態図(LAN ケーブル非接続時)

※図6のようにない場合は、LAN ケーブルが接続されているはずなので、LAN ケーブルを外してください。ただし、LAN ケーブルが外れていても、無線LANによりインターネットに接続されている場合があります。その場合は次に進んで下さい。

④ 机上のLAN ポートとノートPC をLAN ケーブルで接続してください。しばらくすると、図7のようにアクティブなネットワークが表示されます。図7の状態が確認できたら、「イーサネット」をクリックしてウィンドウを出し、「プロパティ」ボタンをクリック。

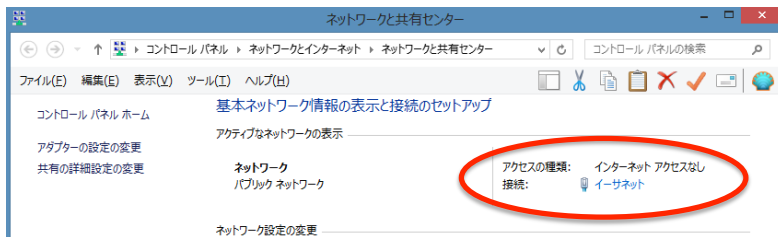


図7 ネットワークの状態図(LAN ケーブル接続時)

⑤ “認証”タブをクリックすると図8のような画面が表示されます。以下のように設定をしてください。

- “IEEE 802.1X 認証を有効にする(N)”にチェックを入れる。
- “ネットワークの認証方法の選択(M)”は“SecureW2 EAP-TTLS”を選択。
- “ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)”のチェックを外す。
- “認証されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)”にチェック。

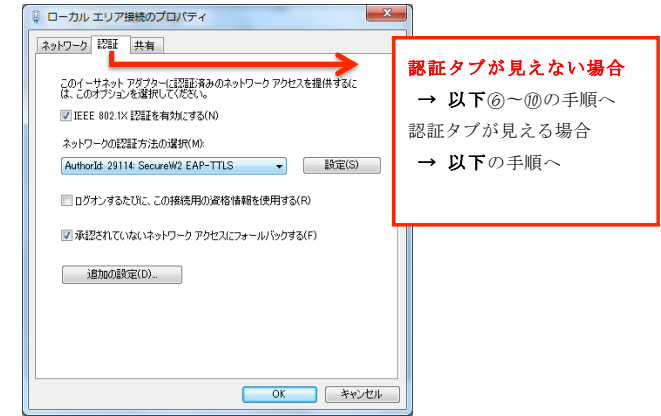


図8 イーサネット（ローカルエリア接続）の設定

以上の図8と同様の設定状態が確認できたら、“設定”ボタンをクリック。

ここで注意 - もし“認証”タブがでてこない場合、以下⑥~⑩の手順を実行してください。

⑥ イーサネットのプロパティに“認証”タブがない場合、図9のように、コントロールパネルの中から“システムとセキュリティ”をクリックし、次に“管理ツール”を選ぶ。

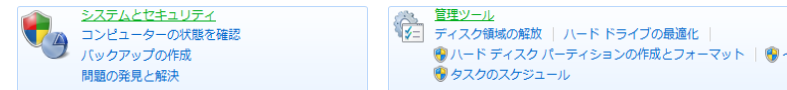


図9 「システムとセキュリティ」から「管理ツール」を選ぶ画面

⑦ 図 1 0 のように、“サービス”をダブルクリックし、実行してください。

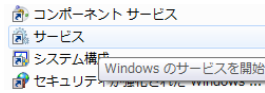


図 1 0 サービス

⑧ 図 1 1 のように“Wired Auto Config”をクリックし、左側にある“サービスの開始”をクリックする。次に、“Wired Auto Config”を右クリックし、“プロパティ”をクリック。

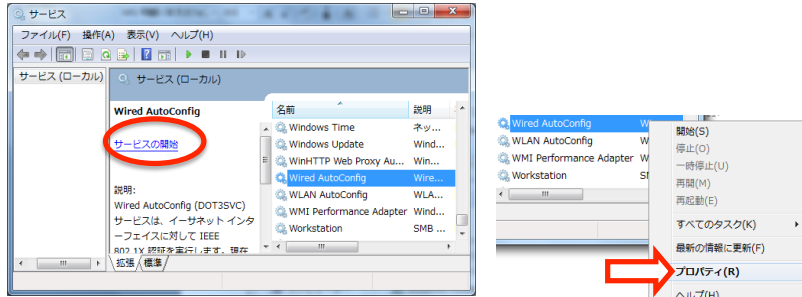


図 1 1 Wired Auto Config

⑨ Wired Auto Config のプロパティ画面の中で、図 1 2 のように“スタートアップの種類:”を“自動”にして“OK”ボタンをクリック。

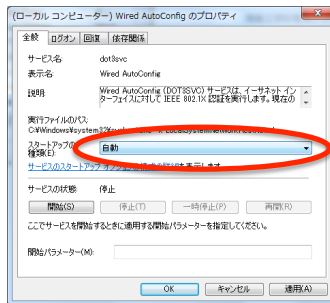


図 1 2 Wired Auto Config のプロパティ画面

⑩ イーサネット（ローカルエリア接続）のプロパティに“認証”タブが出現していることを確認する。

⑪ “認証”タブをクリックすると、図 1 3 のような SecureW2 の設定画面が表示される。ここで“Configure”ボタンをクリック。

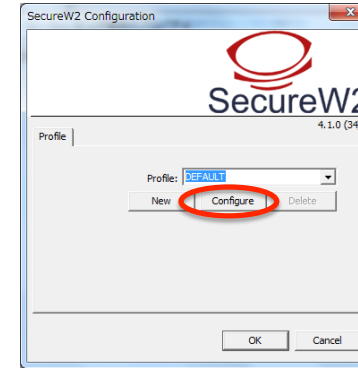
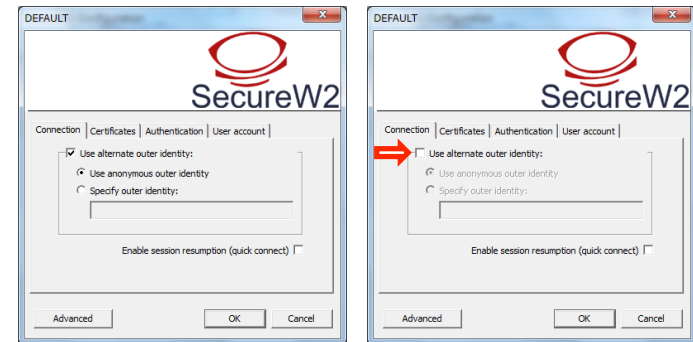


図 1 3 SecureW2 設定画面

⑫ 図 1 4 (a) のような画面が表示されるので、“Use alternate outer identity:”のチェックを外し、図 1 4 (b) の状態に変更する。変更後に“Certificates”タブをクリック。

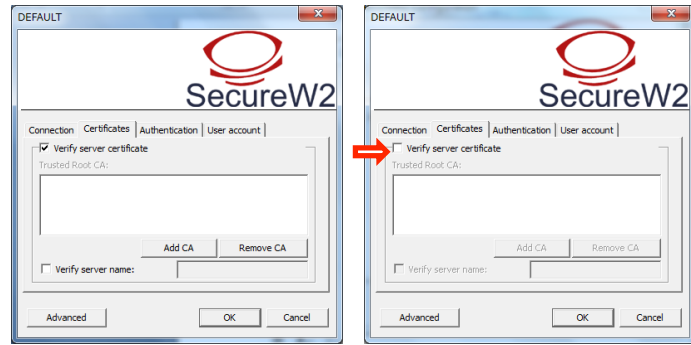


(a)変更前

(b)変更後

図 1 4 SecureW2 Connections 画面

⑬ 図 1 5 (a) のような画面では“Verify server certificate”のチェックを外し、図 1 5 (b) の状態に変更する。設定後、“OK”ボタンをクリックし、SecureW2 の設定画面を閉じる。イーサネット接続のプロパティも同様に“OK”ボタンをクリックして閉じる



(a)変更前 (b)変更後
図 1 5 SecureW2 Certificates 画面

⑭ しばらくすると図 1 6 のようなポップアップが表示される。ポップアップの枠内をクリック。もしポップアップが消えてしまった場合や、表示されなかった場合は、PC から LAN ケーブルを外し、再度接続すると再び表示されます。

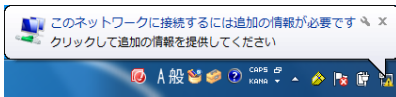


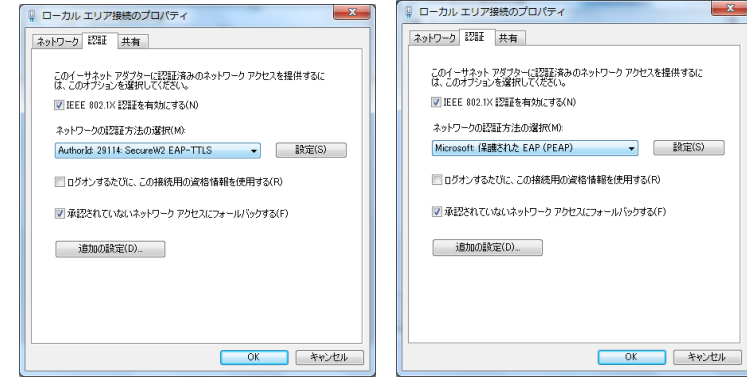
図 1 6 認証情報の入力を求めるポップアップ

⑮ ポップアップをクリックすると、図 1 7 のログイン画面が表示される。“Username:”には学生番号(u2x6xxx)を入力し、“Password:”に学科パスワード(情報工学科の演習室端末のログインパスワード)を正しく入力し、“OK”ボタンをクリック。“Domain:”は空白でよい。正しく認証情報を入力すると、有線 LAN からインターネットへ接続できるようになる。



図 1 7 SecureW2 認証情報入力画面

注意 ・※本マニュアルでの設定状態のままだと、61号館以外の場所（70号館など）でインターネットを利用することができない可能性がある。**61号館以外の場所でインターネットに接続する場合は**、⑭の手順に戻って、イーサネットのプロパティを開き、認証タブをクリック。図 1 8 のように、“ネットワークの認証方法の選択(M)”を“SecureW2 EAP-TTLS”から“Microsoft: 保護された EAP (PEAP)”に変更し、“OK”ボタンをクリックする。



(a)変更前 (b)変更後
図 1 8 61 号館以外でインターネットを利用するときの認証設定

2. プリンターの設定

① 図 1 9 のように、“ネットワークと共有センター”の画面を開いて“共有と詳細設定の変更”をクリックする。図 2 0 のような画面で“ネットワーク探索を有効にする”と“ファイルとプリンターの共有を有効にする”を選択し、“変更の保存”をクリックする。



図 1 9 「ネットワークと共有センター」と「共有の詳細設定」

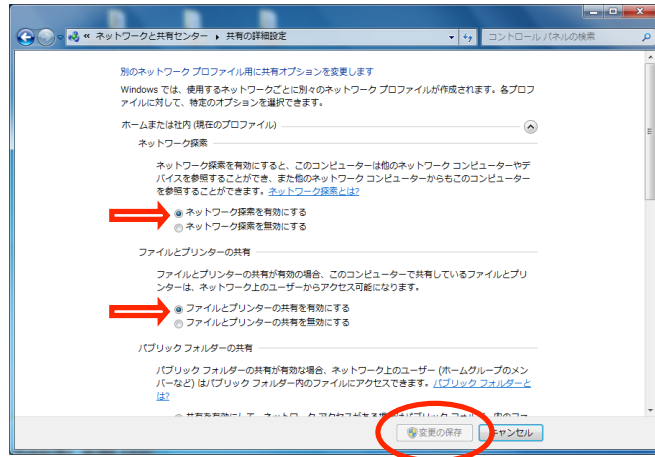


図 2 0 「共有の詳細設定」の画面

- ② プリンターの追加を行う。まず、デスクトップ画面右下にマウスポインタを置いて、コントロールパネルを選択する。“設定”をクリックし、コントロールパネルの中から“**デバイスとプリンターの表示**”を選択する。

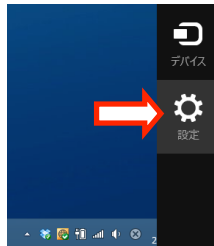


図 2 1 コントロールパネル

- ③ “**プリンターの追加**”をクリックし、プリンターの追加ウィザードを起動する。



図 2 2 プリンターの追加ウィザードの起動

- ④ 下図のようにプリンターを選択する。実際に 61 号館 1 階で利用可能なプリンター名は、**自習室のプリンターに貼ってあるラベル (h26 年度の場合 “csl-lp6”)**を見て確認する。

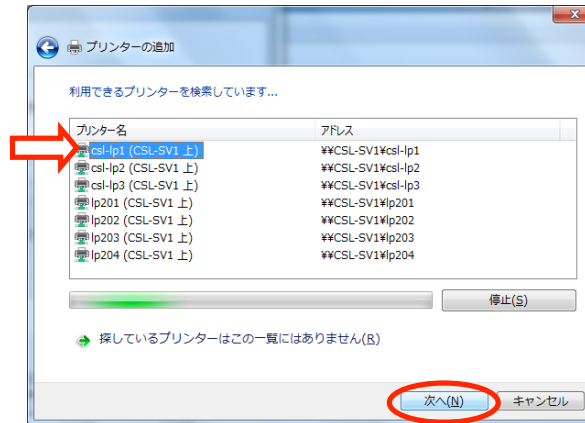


図 2 3 プリンターの追加ウィザード

注意 - プリンターが見つからない場合、Windows のセキュリティソフトウェア (ファイアウォールやウイルス検知ソフト) によって、Windows ネットワーク上の名前解決を行う NETBIOS のポートがブロックされている可能性がある。ファイアウォールやウイルス検知ソフトを一時無効にしてからプリンターの追加を行い、その後、忘れずに Windows ファイアウォールまたはウイルス検知ソフトを有効にしてください。

注意 – それでもプリンターが見つからない場合、図 2 4 のように、エクスプローラーのアドレスバーに直接「**¥¥csl-sv3**」と入力するとプリンターが見つかる場合がある。

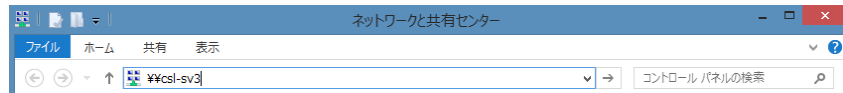


図 2 4 エクスプローラーのアドレスバーから
csl-sv3 プリンターサーバを直接指定

- ⑤ プリンタードライバは自動的にダウンロードし、インストールされる。最後に、プリンター名を設定して”**次へ**”をクリック。

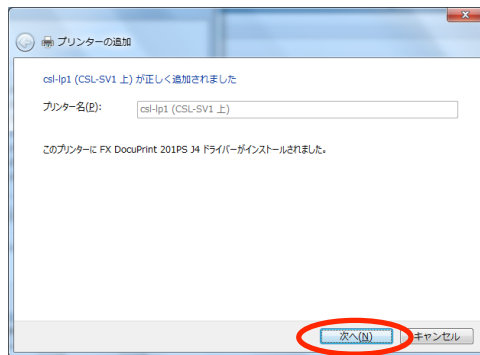


図 2 5 プリンターの追加完了

- ⑥ テストページの印刷を行う場合は、“**テストページの印刷**”をクリックする。

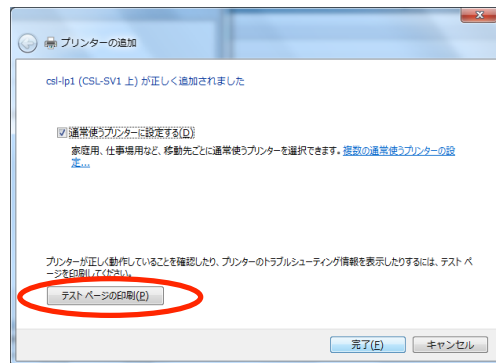


図 2 6 テストページの印刷